

節水ポリシー

オリックス・アセットマネジメント株式会社

私たちは、オリックス不動産投資法人（「本投資法人」）の資産運用に際し、「環境方針」にて規定した節水の推進を図るために、以下のポリシーにて節水に取り組みます。

1. 目標設定

(1) 中長期的な目標

2014年から2018年の間で、本投資法人保有物件の共用部における水使用量を5%削減（原単位）することを中長期的な目標とします。

(2) 短期的な目標

上記(1)の期間中の単年度の本投資法人保有物件の共用部における水使用量を1%削減（原単位）することを短期的な目標とします。

2. 実績値の把握

本投資法人が保有する物件（但し下記※にて除外することができる旨定めた物件を除く）において、プロパティマネジメント業者を通じて、株式会社フレクセスが運営する「多施設エネルギー管理支援システム」を活用し、以下の実績値の把握を月次で行います。

水消費量（物件用途別）

※実績値を把握する物件から除外することができるもの

- ・テナント自主管理物件
- ・区分所有物件等組合等が主体的に管理を行っている物件

3. 節水の取り組み

定期的に、トイレの排水溝の高圧洗浄を行うとともに、トイレ等の設備更新の時期に節水効果のある設備機器（トイレの消音装置、感知フラッシュ、節水型自動洗浄装置、節水コマ、節水型便器（1フラッシュあたりの流量の目安（6L以下））、自動止水栓等）の導入を積極的に検討します。

4. 組織体制

本ポリシーは、業務企画部長が立案し、投資委員会に付議します。また、業務企画部において、水消費量等の実績値の把握、目標数値の検討、節水の取り組み等を行い、財務IR部において、当該取り組みに係る投資家への開示を検討します。

5. 関係者との共同

(1) 従業員への教育・啓発

従業員に対し、節水に係る各種法令、規制、条例等の教育に努めるとともに節水の取組の共有に努めます。

(2) テナントとの協同

テナントに対し、プロパティマネジメント業者を通じ、節水の取組みを共有するよう努めるものとします。

(3) プロパティマネジメント業者及びビルマネジメント業者との協同

本投資法人の決算期毎にプロパティマネジメント業者と節水の目標数値、取組みを共有するよう努めるものとし、実績値のデータ報告を受けるものとします。

6. 節水に係るPDCA

毎期、節水に係る年間目標の策定及び中長期的な目標の見直しの検討を行います。また、月次での実績の把握及び上記3の取組みを継続的に行い、その結果を分析のうえ、定期的に本ポリシーの見直しを検討します。

7. 法令対応

節水に係る各種法令、規制、条例等の制定・改正情報の収集に努め、必要な対応を遅滞無く実施します。

8. 投資家への開示

節水の取組みに関し、積極的に決算説明会資料、ホームページ等への記載を検討します。